

自己学習能力を育てよう

中3英語

津久井 一 則

◆今月は、「接続詞」「前置詞」を学習します。「接続詞」は2種類あり、andやbutなどの仲間とwhenやifの仲間に分けられます。この2つの仲間で大きく異なるのが、英文を訳す順番です。andやbutの仲間からは訳す順番が、whenやifがある文は接続詞の後から訳します。文や語句をつなげるため、接続詞のある文は長くなりますので、注意が必要です。詳しくは開校塾の授業でしっかりと学びましょう。

◆もう一つは、「前置詞」です。byやin等の仲間になります。これらは、時や場所を言う時にその前につけたり、動詞の連語として使われたりします。接続詞との違いは、後ろに文が来ないで名詞が来ることです。実際に授業で確認していきましょう。

中3数学

山本 信 広

◆今月は、「私立高校入試対策」についてお話します。一番大切なのは、過去問を解いてみることです。特に数学は、受験高校によつて出題傾向のばらつきが顕著な教科なので、事前準備は必須です。まずは3年分の過去問と解答用紙を用意して、時間を計り、本番の自分をイメージしながら解いてみましょう。採点は配点と難易度の兼ね合いを重視して、この問題は落とすにはいけない、この問題はあまり考えずに飛ばしてしまおう、といった力量配分や本番での時間配分の目安を考えながら行いましょう。

◆直前の対策の基本は、できない問題にこだわるのではなく、得点していないできそうな問題を得点に結びつけることです。やれることをしっかりと準備して、怠りなく本番に臨みましょう。

中3国語

鈴木 佳 孝

◆今月は、「私立高校入試対策(古文)」についてお話します。私立高校の入試問題は、各高校で独自に作成された問題です。そのため、古文の出題は高校ごとにかなり

り異なります。文章の量は、教行のところもあれば、和歌を含んで1ページ近いところもあります。問題数も5〜7問と異なっています。受験予定の高校の過去問は必ず確認しておきましょう。

◆問題は、古文の内容を把握できているかを問う問題がほとんどです。「うつくし」や「をかし」など現代と異なる意味を持つ単語が聞かれることが多いので、教科書や過去問の解説を読んだ覚えを、教員の場合、問題で使われた文章が有名な作品の場合は、その作者や書かれた年代を問う問題も出ます。主な作品は押さえておくてください。

中3理科

出島 亜 紀

◆今月は、「私立高校入試対策」について大切なことを三つお話します。一つ目は、計画的な勉強をすることです。入試範囲を確認し、スケジュールを立てましょう。その際には、弱点や苦手分野に重点を置くこととよいです。また、進捗状況をチェックし、進め方を調整することも大切です。二つ目は、効率的な学習方法を身に付けることです。集中力を高めるために、勉強する環境を整えること、短時間集中型の学習方法を取り入れることなどがおすすめです。三つ目は、過去問を活用することです。演習を通じて、理解度や苦手分野を把握して、克服しましょう。

◆加えて、心身の健康を保つことも合格するために重要な要素です。健康的な生活を送りましょう。

中3社会

奥村 修 一

◆今月は、「私立高校入試対策」についてお話します。まずは過去問を解いて、問題傾向をつかみましょう。知識が問われるのか、思考力重視か、その割合はどれくらいか。また、全体の文章量は多いか少ないか、記述問題の数や文字数はどうか。など、出題傾向によってどんな練習をすべきなのかを知り、明日からの勉強方法を決めましょう。

◆近年、文章量が膨大になってきています。そこで、速く正確に読むコツをお伝

えます。まず述語、次に主語を押さえます。必要な目的語や修飾語を探し、頭の中でイメージを構築します。指示語や接続詞に注意しながら一文ずつそのイメージを積み重ねていきます。こうすると、読み返しを最小限にして文章を読むことができます。あせらずに、時間をかけて取り組んでみてください。

高校部

高校英語

福岡 正 樹

◆高1生は、「仮定法」を学習します。「仮定法」とは事実と反することを想像するの生活の中で「あの時〇〇しておけばよかった」と後悔するものがよくあります。このように現実には起こらないことを表現するのに使うのが「仮定法」です。現在の事実と反する想像には「仮定法過去」、過去の事実と反する想像には「仮定法過去完了」を用います。「仮定法」の特徴として、このような「時のずれ」があります。「時のずれ」が生じる理由は授業で詳しく説明しますので、しっかりと「理解」してください。

◆高2生は、「形容詞・副詞」を学習します。この単元は高1生でも学習している単元ですが、高2生では大学入試で実際に出題された問題を解きながら、どのくらい「定着」しているか確認していきます。形容詞の「限定用法」と「叙述用法」、「程度を表す副詞」と「頻度を表す副詞」など入試で頻出の問題を中心に扱います。「動詞」や「名詞」と比べ、「形容詞」「副詞」は語彙力が弱い受験生が多いです。今月学習した「形容詞」「副詞」は、単語カードや単語ノートを活用して必ず高2生のうちに覚えてください。

◆高3生は、1月18日(土)、19日(日)に共通テストが行われます。この冬休みにはいよいよラストスパートをかける時です。実践形式で過去問を数多く解くと同時に、これまで作成してきた「間違えノート」を活用して、最後の弱点補強を行いましょう。自信を持って試験に臨むことができます。

きるはずで

高校数学

廻谷 紀 行

◆高1生は、数学Ⅱ「式と証明」を学習します。まずは3次式の展開や因数分解、整式の割り算や分数式の計算など、多くの場面で必要となる計算が出てきます。正確かつ速くに行わなければならないものとマスターしてください。後半の等式・不等式の証明は、今後活用する機会が多い分野です。正しい証明の仕方を「理解」し、問題を見てすぐに証明のルートが浮かぶようになるまで練習を重ねてください。

◆高2生は、数学Ⅱ「積分法」を学習します。以前にもお話しましたが、この前に学習した「微分法」と合わせて、大学入試数学のメインを張るといっても過言ではない単元です。まず、微分の逆演算としての不定積分の定義を「理解」し、不定積分・定積分の計算を確実なものにしてください。その上で、定積分と面積の関係の「理解」し、直線や曲線で囲まれた部分の面積を求められるよう演習を重ねてください。また、理系で数学Ⅲでも微積分は出てきます。その基礎となる数学Ⅱの微積分は、高2生のうちにある程度の実用まで「定着」させる努力をしてください。来年度が相当楽になりますよ。

◆高3生は、いよいよ共通テストまで1か月となりました。この時期になると、どうしても共通テストの勉強が中心になってしまっていると思います。しかし、1月末から私立入試が、2月下旬には国公立入試が控えているのを忘れてはいけません。共通テストの先のことも考えて、学習計画を実行してください。

